



ま ちがと インタビュー

一人前！復興から創生への一翼を担う原動力へ 成人式を迎え、広野町に想うことは!!

今年の新成人の皆さんが、広野小学校での卒業式を間近に控えていた、平成23年3月に東日本大震災が発生しました。

避難生活を送りながら、慣れない環境での中学校生活がスタートし、それぞれの道を歩いてきたみなさんに、これからの広野町に期待することや思いを伺いました。



好川 杏実 さん
(下浅見川)

自分の生まれ育った広野町で成人式を迎えることができ、とても嬉しく思います。
小学校卒業以来、一度も会っていないかった友人達とも再開することができ、それぞれ夢

に向かって努力していることを知り、私も今まで以上に頑張ろうという気持ちになりました。
いつ帰ってきたとしても穏やかで、とても優しく温かい気持ちになれる広野町は私にとって大切なふるさとです。これからさらに復興が進み、今以上にたくさんの笑顔であふれる町になることを願っています。



飯島 百香 さん
(上浅見川)

間もなく震災から丸8年を迎えようとしています。

広野町の街並みは、震災前の姿も残しつつ、ふたば未来学園整備や駅東側開発など新たな装いも見られ、復興への着実な歩みが感じられます。
変化を求めることも大事ですが、自然豊かで、人に優しいまち、そんな「ふる里」広野町で今後もあつて欲しいです。

編集後記

いよいよ平成の時代が、皇位継承により改められます。

これまで1300年以上、247の元号に5月から新たに加わります。

両陛下は二度来町され町民をいたわりました。

歴史的本年を後世に伝えたいものです。

先月、議会映像配信に関する特別委員会にて、実施することになりました。

インターネットを用いての議会中継・録画配信がパソコンやタブレット・スマートフォンで閲覧でき、議会が身近になります。

みなさんの声がどのように反映されているのか、ご期待いただければと思います。

(小磯 利雄)



冬を彩る南天

次の定例会は3月です

- 発行・編集責任者 議長 黒田政徳
- 広報委員会 委員長 塩 史子
- 委員長 阿部憲一
- 委員 北郷幹夫
- 委員 小磯利雄
- 委員 遠藤 浩